

週間漁海況情報—第7号

平成24年2月20日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

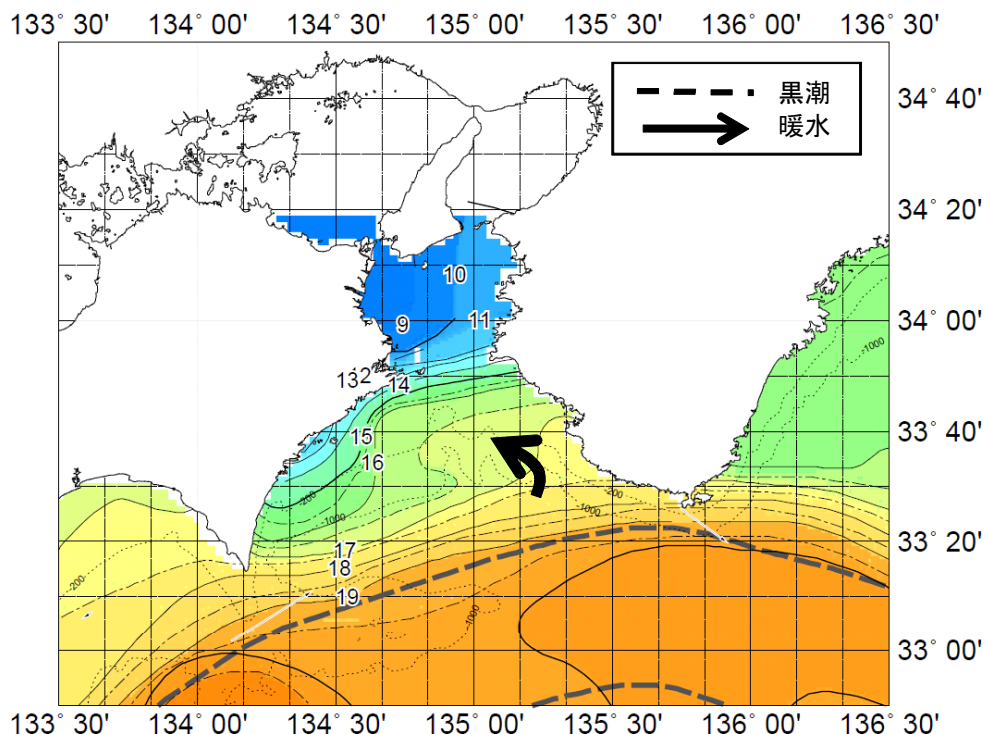
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.2.20）を示した。

黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8℃台、紀伊水道で8～13℃台、海部沿岸で11～16℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。

漁業調査船「とくしま」で

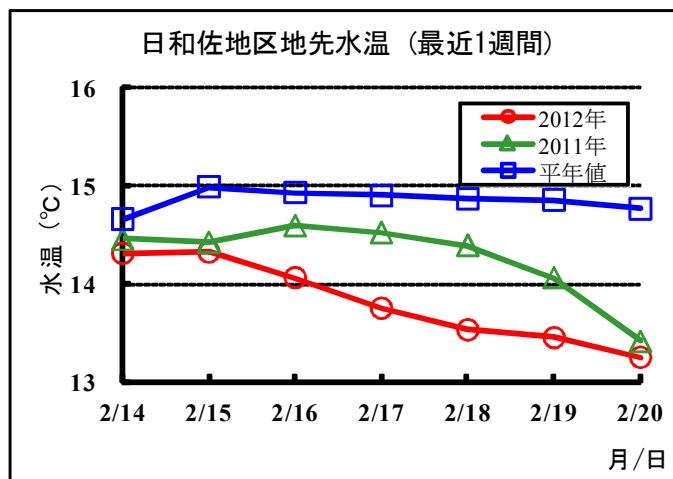
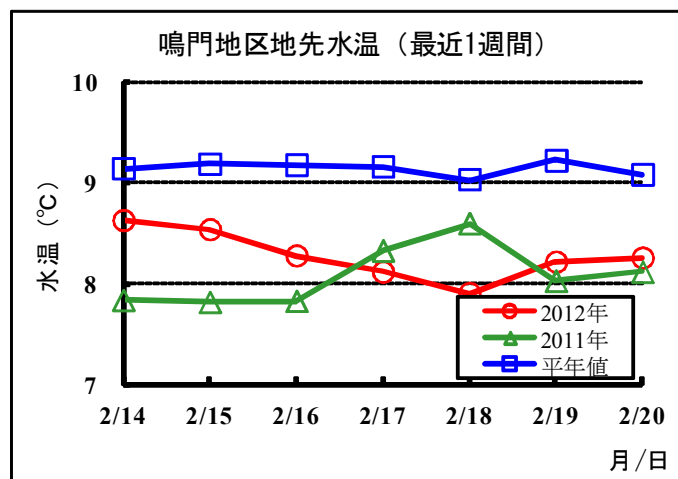


2月14日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は全層で「やや低め」の8.2～8.5℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日	水温				塩分				
	表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m	
2/14	今年値	8.2	8.3	8.5	8.5	31.8	31.9	32.0	32.0
	平年偏差	-1.1	-0.8	-0.6	-0.6	-0.9	-0.9	-0.8	-0.8
	前年偏差	0.1	0.4	0.7	0.7	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」の7.9～8.6℃、日和佐地区で「低め」～「平年並み」の13.3～14.3℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の11.0～16.6℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

建網：海部沿岸で中主体にヒラメが0.3トン（1日1隻当たり9kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン（同5kg）、カタクチイワシが1.2トン（同47kg）、大主体にキビナゴが0.2トン（同39kg）、スルメイカが0.2トン（同8kg）、メジナが0.4トン（同33kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にアオリイカが0.3トン（同26kg）、小小主体にシイラが0.4トン（同37kg）、中主体にスルメイカが1.7トン（同153kg）、ブリが0.3トン（同27kg）、小主体にマサバが0.5トン（同48kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.3トン（同7kg）、大・中主体にゴマサバが0.7トン（同36kg）、大・中主体にタチウオが0.4トン（同99kg）、大～小主体にマサバが0.4トン（同19kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2月13日～2月19日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
建網	海部沿岸	ヒラメ	34	312	9	中主体
小型定置網		アオリイカ	52	246	5	
		カタクチイワシ	26	1,213	47	
		キビナゴ	6	231	39	大主体
		スルメイカ	24	201	8	
		メジナ	12	399	33	
大型定置網		アオリイカ	11	289	26	中主体
		シイラ	11	408	37	小小主体
		スルメイカ	11	1,688	153	中主体
		ブリ	11	301	27	
		マサバ	11	524	48	小主体
釣り		アオリイカ	42	282	7	大主体
		ゴマサバ	19	678	36	大・中主体
		タチウオ	4	395	99	大・中主体
		マサバ	21	399	19	大～小主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年2月14～20日の海部沿岸では、延縄でカワハギが0.1トン、中主体にタチウオが0.4トン、小型定置網でアオリイカが0.1トン、大型定置網でアオリイカが1.5トン、クロダイが0.1トン、マアジが0.3トン、釣りで大主体にアオリイカが0.6トン、紀伊水道でサバフグが0.1トン水揚げされていた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖・潮岬沖ともに「接岸」で推移する見込み。海部沿岸上灘では、引き続き内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の7～8℃台、日和佐地先は「やや低め」～「平年並み」の13℃台で推移する見込み。